

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和6年度）

施設名	吹田市花とみどりの情報センター	所管部室課名	土木部公園みどり室
所在地	吹田市津雲台1-2-1	設置年月日	平成24年（2012年）9月3日

1 施設の概要

(1)設置目的	花とみどりに関する情報の普及を図るとともに、花とみどりにふれあう市民相互の交流の場を提供し、もって緑化意識の高揚に資することを目的とする。
(2)規模、開館日等	【規模】 展示室1室 講習室1室 【開館日時等】 開館時間:10:00～18:00 休館日:月曜日、祝日（祝日が月曜日と重なったときは、その翌日も休館）、12月29日～1月3日、みどりの日は開館

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	株式会社日比谷アメニス					
(2)指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者 が行う業務内 容	ア 事業の実施に関する業務 イ 使用の許可に関する業務 ウ 使用料の徴収に関する業務 エ 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務 オ アからエのほか、センターの管理に関し市長が必要と認める業務					
(5)指定管理者 の収支			令和5年度		令和6年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収 入	指定管理料 又は利用料金（円）	25,564,000	25,564,000	25,564,000	25,564,000
		自主事業（円）	-	273,154	-	280,332
		その他（円）				
	支 出	管理経費（円）	25,564,000	25,629,012	25,564,000	25,608,407
		自主事業（円）	-	175,872	-	123,369
		その他（円）				
	収支差額（円）		0	32,270	0	112,556

3 成果指標（活動指標）

成果指標（活動指標）		令和5年度		令和6年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	市民等による都市公園等の活用の促進 ・「つかうPJ」の活動支援件数	10	9	10	9
2	公園樹木・街路樹の良好な維持管理のための市民協働の促進 ・「すいたの樹木ガイド」の参加者数	200	185	200	200
3	地域での花とみどりのまちづくり活動の活性化 ・「はなみどりガーデンセミナー」の参加者数	60	98	60	93
4	花とみどりに係る活動の支援 ・「花とみどりのフェア」のイベント参加者数	3000	2500	3000	1800
5	花とみどりに係る活動の支援 ・講習会等の参加者アンケートによる満足度	70	96	70	92

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	ア 相談・問合せ・苦情・要望・称賛の記録（通年実施） イ 講習会等参加者アンケートの実施（毎回実施）
(2)把握結果	主な意見として、次のものがあった。 ア 素敵な子供向けコーナーがあり、子供が喜んでいて、今後も拡充されるともっと行きたくなると思う。 イ 樹木ガイドに参加して、樹木に興味湧いた。季節の違うときにまた違う植物の話を知りたい。知っている樹木の新しい知識を聞くことができた。
(3)結果を受けての対応状況	ア 子供向けコーナーのデザインや絵本の更新を、適宜行っている。 イ 樹木ガイドは、一年間を通じて行っており、なるべく季節の草木の説明を盛り込むようにしている。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	園芸相談に対して、モニター設置や筆談を実施し、利用に抵抗がないように取り組んでいる。また、子連れの方が施設に足を運びやすいように、展示スペースにテントの設置や絵本といった子供向けコーナーを設置しており、絵本の種類も適宜更新している。講習会やイベントに関しては、親子で参加できるように内容を見直し、幅広い世代が参加できるよう実施している。
(2)施設の効用の発揮	自主事業として園芸販売を行い、施設の利用促進・利便性の向上に努めている。園芸販売コーナーは、様々な人の目に留まるように、配置デザインを定期的に見直している。千里南公園が近接している立地を活かし、公園を使った取組みやイベントを行っており、センターに足を運ぶ機会のない人にも情報発信を行っている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	必要な資格者を配置しているとともに、安定した管理運営を行う体制が確保できている。また、オンラインを含めた研修を、定期的に行い、能力の向上に努めている。経営に関しては、経理帳簿を備え、適切に経理事務を行っており、会社も安定的な管理運営が可能な財政的基盤を有している。
(4)施設の管理経費の縮減	社内でシステム管理によるペーパーレス化を行い、経費縮減に取り組んでいる。また、不要な照明の消灯、温湿度計による空調温度の適正管理や、クールビズ・ウォームビズに対応した制服の改善など、環境に配慮している。
(5)効果的な事業運営	公園を「つかう」プロジェクトとして、「つつつ市」と「はなみどみどりの日」を開催し、園芸相談やキッチンカーによる販売を行い、多くの人に「公園の使い方」の発信や、市民間のコミュニケーションをとる場の創出を行った。また「花と緑のフェア」では、利用者の満足度がより高くなることに加え、出店者間のコミュニケーションがとれるように、イベント規模の見直しを行った。
(6)総合評価	管理運営方針に沿って、公の施設として適切に運営されている。InstagramやFacebookといったSNSを利用した情報発信を行っており、市民へのイベント周知や公園の利用促進の向上を行っている。令和6年度から親子向けのイベントも多く行ったことで、若い世代の関心も高まっている。各イベントのアンケート評価も高く、日々多様化している市民ニーズに対応した事業展開が今後も必要である。